

# 都市計画道路の整備優先度

～さまざまな角度から可視化してみよう～



庁内説明で活用



地元説明会で活用

静岡市 道路計画課

## 1. 静岡市 都市計画道路の概要、見直しへの取組

⇒ 夜間人口×都市計画道路整備率で可視化、検証を実施



### ◆静岡市都市計画道路整備の現状

路線数：134路線 延長：373km  
 整備率：72.7% (H30末、概成含まない)  
 ※県内平均 60.7%、政令市平均 71.5%

**政令市平均を上回るものの、必要箇所に適切な整備が進んでいる、とは感じない。**

### ◆都市計画道路の見直し状況

H27年度から2回目の検討実施中

<ポイント>

ICと拠点の連携、円滑な交通、緊急物資輸送、歩行者の安全な通行空間など、12項目から重みづけ

**主観による部分が多い!?**

都市計画道路の事業化優先箇所を可視化できないか・・・

⇒ (夜間人口=高さ) × (都市計画道路の整備率=色) で可視化してみよう!

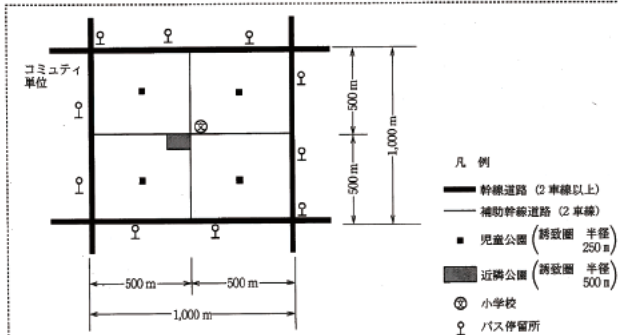
※道路整備の必要性：通勤車両等の交通の分散 ⇒ 渋滞対応と仮定

## 2. 必要性の評価方法①

道路ネットワークの概念図を整備基準値とする。

(1) 基準となる整備率 ⇒ 概念図を基準として現況を評価

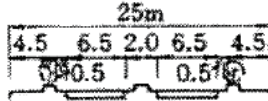
◆住居地域における幹線道路及び補助幹線道路のネットワークの概念図 ⇒ 1km<sup>2</sup>の中に幹線道路4km  
補助幹線道路2km



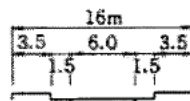
出典：実務者のための新都市計画マニュアルⅡ6【都市施設・公園緑地編】

【基準とする道路幅員】

(幹線道路)



(補助幹線道路)



延長で考えるより、空間で評価しては？  
静岡市が所有する都市計画道路のGIS  
データを分析し、面積で評価を実施

$$\text{基準} = \frac{\text{幹線道路} \cdot \text{補助幹線道路の面積}}{\text{基準街区面積 (3次メッシュ)}} (\%)$$

【分母】

$$1,000\text{m} \times 1,000\text{m} = 1,000,000 (100\text{ha})$$

【分子】

幹線道路W=25m

$$\Rightarrow 25/2 \times 4 \times 1000 = 50,000\text{m}^2$$

補助幹線道路W=16m

$$\Rightarrow 16 \times 2 \times 1000 = 32,000\text{m}^2$$

$$\text{計} 82,000\text{m}^2 (8.2\text{ha})$$

$$\text{基準値} = 8.2/100 = 8.2\%$$

## 2. 必要性の評価方法②

基準値に対し、現況の整備率を可視化。評価方法は？

(2) 現状の整備率

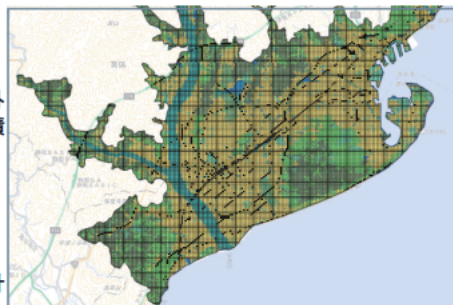
【分母】

精度を上げるために、  
国土数値情報の土地  
利用より3次メッシュ  
内の建物用地以外を除外  
(=居住に適さない面積  
：森林、河川等)

【分子】

GISを活用し、3次  
メッシュごとの整備済  
都市計画道路面積を集計

静岡市土地利用 (国土数値情報より)



都市計画道路整備状況 (オリジナル)



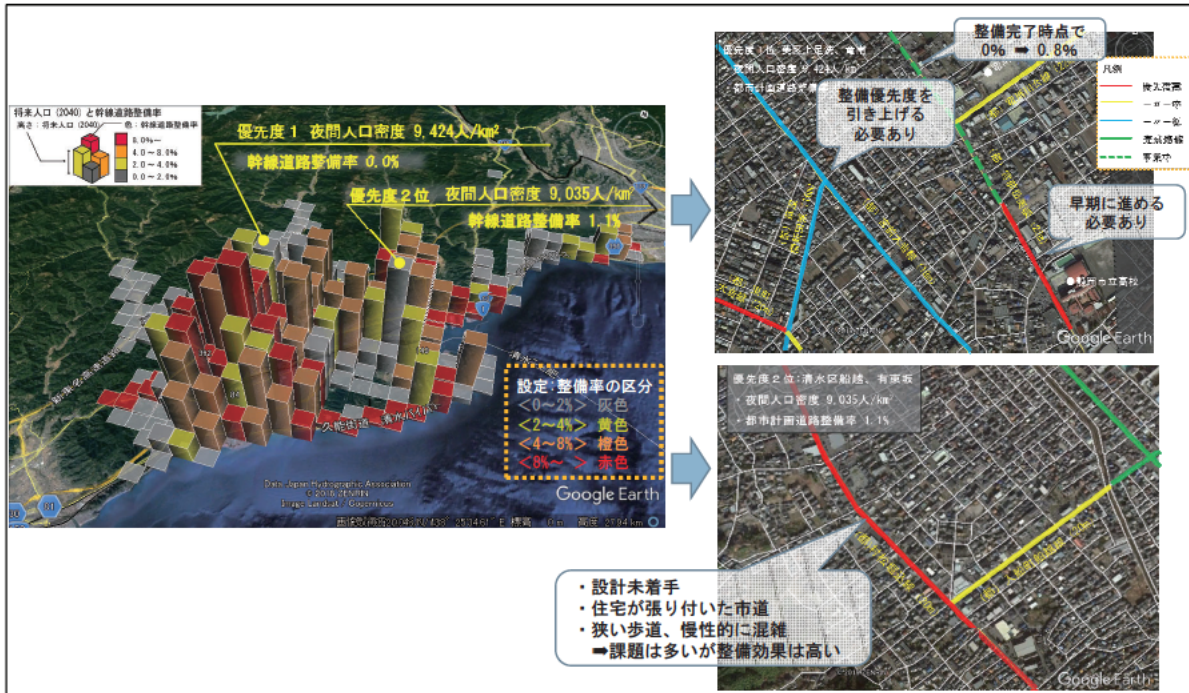
(3) 可視化の評価方法

可視化の結果	評価	整備優先度
バーが高い×色が濃い	メッシュ内人口が多く、かつ都市計画道路の整備が進んでいる	2 or 3
バーが高い×色が薄い	メッシュ内人口が多いが、都市計画道路の整備が進んでいない	1
バーが低い×色が濃い	メッシュ内人口が少ないが、都市計画道路の整備が進んでいる	4
バーが低い×色が薄い	メッシュ内人口が少なく、都市計画道路の整備が進んでいない	2 or 3



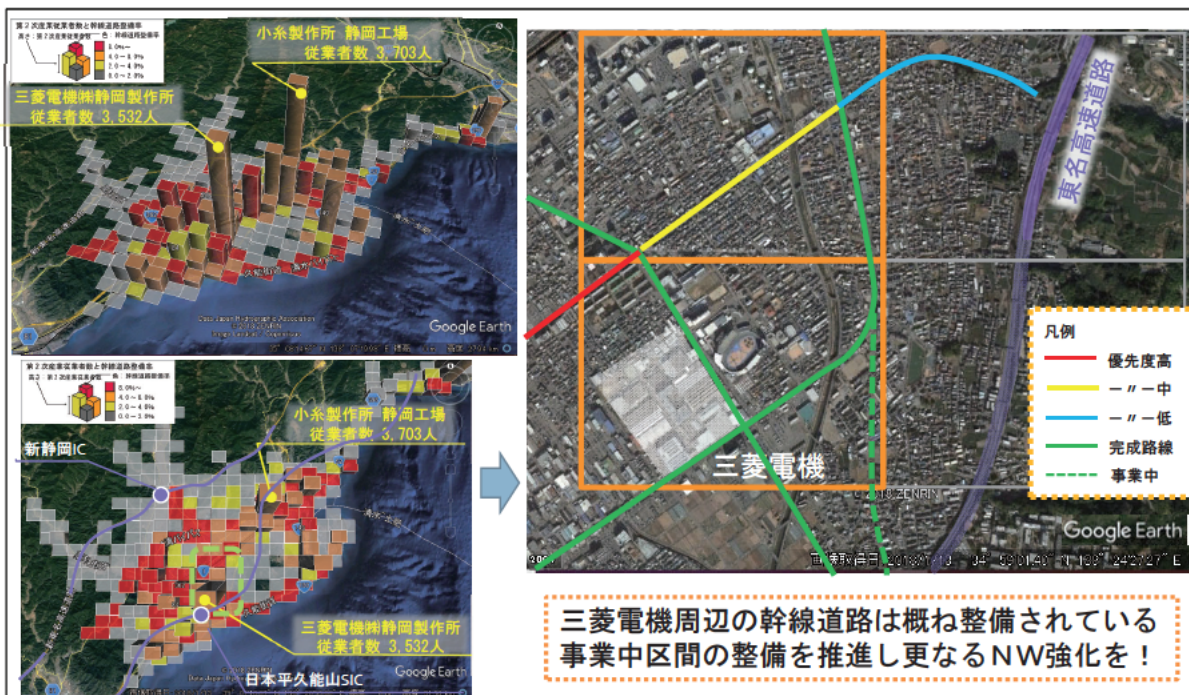
### 3. 夜間人口×都計道整備率

整備優先度の高い箇所を可視化 ➡ 航空写真で確認



### 4. クロス分析の実施

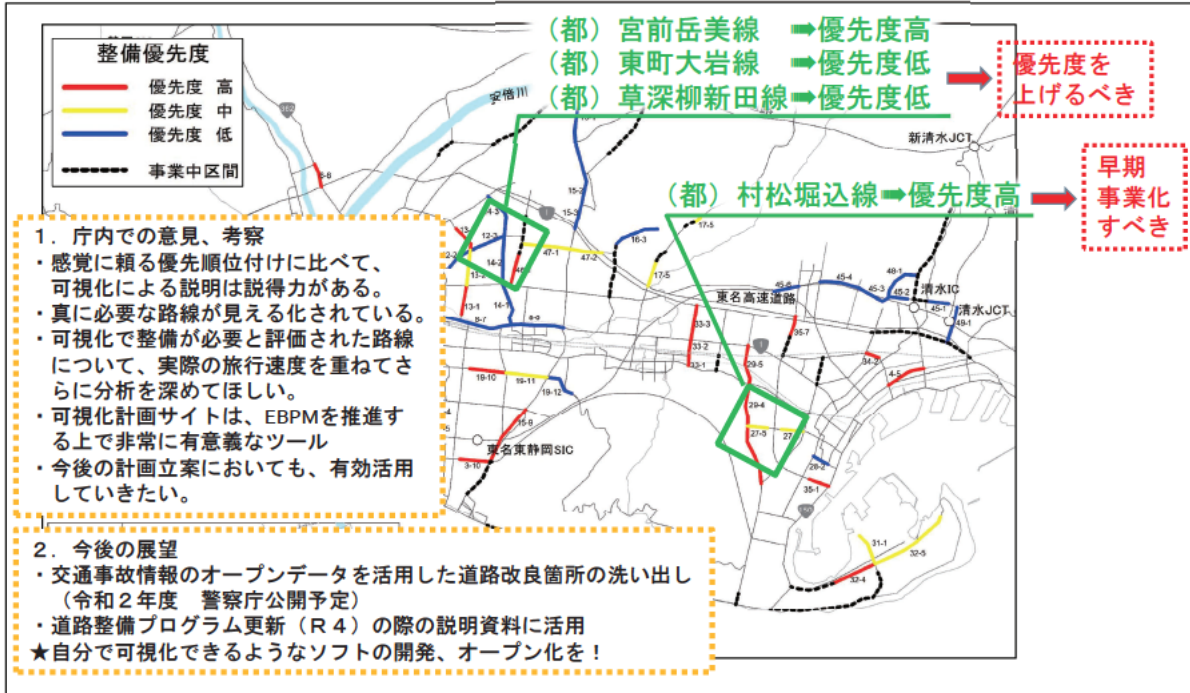
➡ 第2次産業密度×都市計画道路整備率でさらに分析





## 5. 結果の評価、考察、今後の展望

### 庁内説明、課内企画立案における意見



i-都市交流会議2020

7

## 静岡県静岡市

い い ね え。  
静岡生活

グルメ目慢静岡！  
ぜひお越しください！

静岡の万能ソルフード  
「静岡おでん」

清水のまぐろ

モツカレー

由比の桜エビ

i-都市交流会議2020

8